

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 5月、7月合併号
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番



ちかい

1. 海のような広い心で団結し
すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い
立派な海の子になります。

平成29年度 定時総会・団長会議等を開催

日本連盟は、6月8日(木)、東京晴海の「ホテルマリナーズコート東京」において、午後1時30分から午後5時までの間、資格審査会、団長会議、平成29年度定時総会及び懇親会を開催した。

資格審査会は、資格審査委員5名により、午後2時から開催され、認定申請のあった統括指導者1名、指導者12名について審査した結果、全員一致申請どおり認定された。

団長会議は、資格審査会に引続いて二階会

第一号議案 平成29年度事業計画について

第二号議案 海洋少年団の強化・活性化について

第三号議案 第53回全国大会の実施について

第四号議案 海洋少年団の制服等の見直しについて

第五号議案 活動助成金の見直しについて

第六号議案 その他

第一号議案については、今年度、日本連盟が実施する事業について説明。

第二号議案については、海洋少年団の現状と新団の設立状況プロ

ジェクトチームの活動め、地域との連携を重視する。無駄な助成がないか点検し、合理的な助成のあり方について制度の見直しなどを行うことを説明。

第三号議案については、実行委員長である権藤副会長から大会の概要と準備状況について説明。

第四号議案については、制服等見直し検討チームによるこれまでの検討状況と、アンケート調査の実施など、今後の進め方について説明。

第五号議案については、新団の設立、団活動の一層の充実等のため、地域との連携を重視する。無駄な助成がないか点検し、合理的な助成のあり方について制度の見直しなどを行うことを説明。

平成29年度定時総会は、同会議室において午後4時から正会員134名のうち、過半数を超える88名(うち議決権行使書42名)が出席し、5月17日の第1回理事会で承認された次の5議案について審議が行われ、全て原案どおりに承認された。

第一号議案 平成28年度事業報告及び平成28年度決算について

第二号議案 平成29年度事業計画及び平成29年度予算について

第三号議案 役員の見直しについて

第四号議案 その他

議案のうち、第三号議案「役員の見直しについて」は、赤峯浩一、樋口修資、影山幹雄、田村雄一郎、小林一夫、理事が辞任し、小山智之、加藤由起夫、伊藤松博、郷古達也氏が新しい理事として選任された。

また、報告事項として、「顧問の退任について」、「第53回日本海洋少年団全国大会の進展状況について」、「会

今月の主な記事

2面 海っ子なかま(高知団)、春の褒章受章(中日団、千葉市連盟)、国際交流(招請)参加国決定

3面 みどりの広場、まんが

4面 各団ニュース、海上保安庁総合訓練参加他



4月22日、海上保安大学校煉瓦ホールにて、前川日本連盟会長、小村呉市長、下野第六管区海上保安部長、池海上自衛隊呉地方総監、吉田中国運輸局長、友田川崎汽船理事を始め、多くの皆様のご参加を頂き、結団式を挙行した。

最後に、新入団員を代表して、中学1年生の森平晴己(もりひらはるき)君が「立派な海の子になります。」

また多くの来賓や指導者、支援者、父兄等に見守られる中、緊張した様子の新入団員に対して勝山団長から団員証が授与された。

その後、勝山団長、寺田衆議院議員・名誉団長、小村呉市長等の挨拶、来賓の紹介を行った。

新入団員が入場、着席後、国家斉唱、設立の趣旨説明のあと、前川日本連盟会長から勝山団長へ団旗と団長章等の授与が行われた。



と力強く宣誓した。

呉市にはかつて海洋少年団がありましたが、100人以上も団員が在籍し毎週熱心に訓練に励んでおりましたが、団員が減少し、やむなく解散いたしました。

呉は明治23年に海軍鎮守府が出来たことにより生まれた街です。その関係から現在も海上自衛隊、海上保安大学校、海上保安部、海事事務所、

広島県に呉海洋少年団誕生!!

造船、内外航路の船主、関連企業等が沢山存在します。

まさに海の街です。そのような街であるにも関わらず、子供たちの海に寄せる関心は日増しに薄れていきます。

そこで、団体生活を

通し、海を理解し海に興味を持つ子供たちを育て、児童生徒の健全育成に努めるために、呉海洋少年団を改めて結団することといたしました。

団員22名、団長以下指導者11名の小さな団

ですが、連盟を始め、先輩団の皆様のご支援を頂き頑張っています。どうぞご支援を頂きますよう宜しくお願いいたします。

副団長・事務局長 谷 恵介

大会ポスターができました

第53回日本海洋少年団全国大会

開催期間 平成29年 8月4日(金)~7日(月)

開催場所 福岡国際会議場 福岡市中央区地行浜 ほか

集え海っ子福岡へ!

手旗 カッター ロープワーク

海洋少年団と全国大会の紹介

お問い合わせ 第53回日本海洋少年団全国大会実行委員会事務局(福岡海洋少年団)
 〒810-0076 福岡県中央区東下町2-2-2 福岡海洋少年団事務局 福岡海洋少年団事務局
 e-mail jfs53th.fukuoka@gmail.com

海っ子なかま集まれ!

団活動の概要

当団は、平成26年11月に発足し、今年で4年目を迎えてようとしていきます。

当団の訓練方針は、連盟指導要領を順守しつつ、訓練日程、訓練内容においても団員及び指導員に対し過度な負担を強いることなく、かつ、効率的な訓練計画により、継続



全国の海洋少年団で行っている団員募集方法や新しい試みに成功した例をお伝えします。シリーズ二回目は高知団です。

可能な範囲で訓練を実施する、ということにあり。醸成、環境保全の大切さを自然の厳しさを

高知海洋少年団 団活動と団員の確保策

練習日 毎月 第二日曜日を訓練日とし、各種イベント等への参加がある場合はその都度、訓練日を追加しています。

訓練内容におきましては、「しつけ」教育と野外(海、山、川)活動に重点を置き、集



指導者が常日頃から、海保、運輸局、海上自衛隊、県市等の公的関係者、新聞、テレビ等マスコミ関係者並びにシーカヤック団体等の民間団体

団員確保策

当団の発足当初は、20名の団員で活動を開始しています。ただ、発足まもなく諸般の事情から、7名の団員が一斉に退団したことに、一時、団員が急減しました。新聞記事、口コミでの周知により徐々に増し、29年4月現在、18名の団員により活動を継続しています。



指導者の状況等から、団員の受け入れにも適正人数を設定する必要があり、全ての希望者を受け入れられない、というのが現状です。

平成29年度 春の褒章で海洋少年団が緑綬褒章を受章

中日海洋少年団、千葉市連盟

平成29年度春の褒章(4月29日付)において中日海洋少年団と千葉市連盟(千葉新宿団・千葉北部団)が「緑綬褒章」を受章した。

このたび、中日海洋少年団が緑綬褒章の受章という栄誉を賜りました。このたび、中日海洋少年団が緑綬褒章の受章という栄誉を賜りました。

連盟登録110番目の団として名古屋の地に誕生して53年。初代山崎嘉男団長の口癖は「追いつけ、追い越せ」であり、団員皆泳を目標として知多半島の海水浴場

場を利用した合宿訓練も早くから実施してきました。半世紀近く続いている海浜清掃は、海の道場をきれいにするとという精神で始めたものです。

広く奉仕の精神を培う活動は、歴代の団長によって継続・拡充され、名古屋港ガーデン埠頭一帯のクリーンアップ作戦や、伊勢湾・三河湾・五ヶ所湾エコアクション、名古屋まつり英傑行列通過後の沿道清掃、愛知県護国神社における篝火奉仕などで具現化されてきました。

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

けたものであります。喜びを分かち合うとともに、今後もグローバルな視点で海洋環境保全に貢献できる団員を育成できるよう、努力して参りたいと考えております。

団長 浅井富士雄

【千葉市連盟】

千葉市連盟は、昭和31年千葉市に千葉中央団と千葉末広団が発足された後結成された団体・連盟で、現在は、千葉新宿団と千葉北部団が所属しています。

5月28日の「千葉市連盟合同入団式」会場で褒状を団員に披露し、7月22日、千葉市連盟結成50周年を祝う会にてあらためて喜びを分かち

合いたいと思います。

5月16日に国土交通省で伝達式が行われた

授与される褒章で、このたびは全国の受賞者58名・13団体(うち緑綬褒章1名9団体)のなか環境美化奉仕団体として海洋少年団二団が受章した。

このたび、中日海洋少年団が緑綬褒章の受章という栄誉を賜りました。このたび、中日海洋少年団が緑綬褒章の受章という栄誉を賜りました。

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた



この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた

国際交流に イギリス、カナダ、香港から参加決定

国際海洋少年団協会の各メンバーに対し、日本開催の国際交流(8月4日(12日)の参加を呼びかけたところ、イギリス、カナダ、香港から申込がありました。各国ともリーダー1名と少年団員4名で総員15名となります。

その後の日程は、大宰府天満宮や九州国立博物館、広島に移動して呉の海上保安大学校等を見学に訪れます。

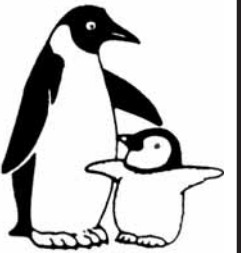
そして最終日は、福岡国際空港からそれぞれの地に帰国する予定となっております。

日本の暑い暑い夏を乗り切って、無事に全行程を楽しんで帰られるよう、今から祈りたいと思います。

この褒章は永年にわたり中日団を支えていただいた役員・指導者をはじめ、後援会の皆様や団員全てにいた



みどりの広場



昨年9月、いわき市の子ども達と小名浜団の団員が震災支援のお礼に宇部市を訪れ、宇部団員との交流会が行われました。また12月には宇部市の職員と宇部団の団員たちがいわき市に招待され交流を深めました。

「いわき市での交流会」

宇部団 加登山未帆

今回、いわき市に訪問させていただきありがとうございます。報道等で聞いていたイメージと少し違った部

「福島県に行つて」

宇部団 村井 真輝

福島県にしようたいをしてもらって、かげい会までしてください。ありがとうございます。まず、アクアマリン

たので今回、このような機会をもうけていただいた事に感謝しています。大変お世話になりました。展示コーナーでは、

実際の津波の高さも知る事ができました。百聞は一見にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

聞は一目にしかずとい

「福島県いわき市に行つて」

宇部団 工藤 紗希

福島県いわき市に来て津波が来たのにもどどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

どどおりになっていたの

作文・活動報告 記事募集!!

大会や行事に参加した

たこと、日頃の団の活動

などを作文や団活動の報告記事として投稿

してください。

〈応募方法〉

原稿用紙1〜2枚

(400字〜800字程度)

★みどりの広場に作文

を掲載された方には、

ささやかな記念品をお

贈りします。

一つの記事につき

400〜600字程度。その

関連の写真や画像など

1〜2枚。

〈応募先〉

〒102-0088 東京都千代

田区麹町4-5海事セ

ンタービル(公社)日

本海洋少年団連盟機関

紙編集部宛て

メールアドレス

jsf@green.ocn.ne.jp

でもよかったです。

この三日間で石炭の

ことや当り前なことの

「いわき市に招待されて」

宇部団 山中 芹菜

先日は、いわき市に

お招きいただきありが

とうございました。と

ても良い思い出がたく

さんできました。

一日目の歓迎会では

とてもおいしい料理を

食べる事ができ、小

名浜海洋少年の方とも

話すことができました。

料理は、山口県で食

べることのない食材も

ありとても新鮮でした。

料理を食べた後のケ

キを選ぶことにより交

いなから生活していた

ことはすごいと思い

ました。また、山口県

宇部市にも大きな災害

がいつくるかはわから

ないので、備えをし

うと思いました。

二日目の終わりには

いわきの方のお別れ

もありました。その一

日でもとても仲良くな

れたのでとてもさみし

かったです。

三日目には、いわき

市石炭・化石館で石炭

のことなどを学ぶこと

ができました。時代と

共

に

い

が

あ

り

と

も

お

も

お

も

お

も

お

も

お

清水団

☆豪華客船ドーン・プリンセス寄港・歓迎式典☆

4月16日、清水港日の出岸壁係船柱改良工事完成報告会とドーン・プリンセス歓迎式典のテープカットに清水団



が出席した。式典の中では、清水港のキャッチフレーズである「富士望む心揺さぶる世界の清水」を手旗で披露した。多くの方に見守られながら団員は訓練の成果を発揮することができた。

初のドーン・プリンセスに団員は「マンションみたい」と驚いていた。今後、様々な客船が寄港する予定なので楽しみにしたいと思う。

ドーン・プリンセス
総トン数 77441ト
全長 261.31m
全幅 32.25m
速力 21.4ノット
乗客定員 2250名
初就航 1997年

運航 プリンセス・クルーズ
船籍 バミューダ

長崎県連盟

☆2017長崎船まつりの支援活動実施☆



4月23日、日本海洋少年団長崎県連盟(佐世保団、長崎団、諫早

団)では、長崎船まつりの支援とPRを行った。2000年の日蘭交流400周年を記念してはじまった「長崎船まつり」は今年で18回目。国内外から大小さまざまな帆船が集結する帆船イベントで、世界の帆船たちを愛でながら、さまざまなプログラムやイベントに参加することができる。

この日、日本海洋少年団長崎県連盟は、手旗の訓練披露、和太鼓演奏を実施し、また、帆船まつりのイベントの支援、海洋少年団活動のPRを行った。

会場の海洋少年団ブースには高木海事振興連盟副会長・事務総長も

応援に来てくださいました。応援ありがとうございました。



佐世保団

☆海の子展絵画制作会☆

5月のある晴れた訓練日、日本連盟(サークルクラブ協会共催)が主催している第45回

絵画コンクール「我ら海の子展」に応募する絵画制作会を開催した。写生場所は佐世保湾を見下ろす緑豊かな高台にある「ケアハウスあかりさき」。施設から、ジュースやお菓子を提供していただき、団員たちもやる気が倍増!夢中になって描くことができた。

佐世保団では、毎年



門司団

☆新しいカヌーが来た!☆

このコンクールに応募しており、昨年もたくさんのお応募の中から金賞を受賞している。今年も国土交通大臣賞受章をめざして頑張るぞ!

初体験の教育級は、「海に落ちたらどうしよう?」「パドルが流されたら帰って来られないかも」など不安な様子も。

そんな団員も高等級・中等級と一緒にいざカヌーへ。海に出てみれば、さっきまでの不安はどこへ?日頃は見せない笑顔で楽しそうにすいすい漕いでおり、指導者としてうれしい瞬間でした。

2日間と短い時間でのカヌー訓練でしたが、団員の真っ黒に日焼けした所は、ありがとございました。よかった所はテロリストの劇です。理由は悪い人達に立ち向かう所がすごく必死さが、伝わってきたからです。それと、めったに入れない操縦室に行けたのもいい思い出になりました。



門司海洋少年団 指導者一同

海上保安庁の巡視船艇・航空機展示

音楽隊の演奏、手旗の披露で大好評

総合訓練に参加



去る5月20日(土)、21日(日)の両日、東京湾において、第三管区巡視船艇・航空機展示総合訓練が実施され、関東地区(横浜団、横須賀団、清水団)・東京地区(音楽隊、杉並団、目白台団)の海洋少年団が参加した。2日間に渡って行われた総合訓練には5年ぶりの開催とあってたくさんの人が訪れた。海上保安庁からの要請を受けた海洋少年団音楽隊は、視閲船艇が集結した東京港晴海埠頭岸壁において、視閲船「やしま」や乗船者に対し歓迎の演奏を披露した。

また日本水難救済会のブースでは少年団員たちが「青い羽根募金」の呼びかけに協力するとともに、ポスターを掲示、パンフレットを



海を大切にしましょう!と海洋少年団をアピールし、大勢の乗客から大きな拍手をいただいた。また日本水難救済会のブースでは少年団員たちが「青い羽根募金」の呼びかけに協力するとともに、ポスターを掲示、パンフレットを

みどりの広場

海上保安庁の総合訓練等に参加した団員の感想文です。

目白台団 小針 媛

先週、晴海ふどうで船に乗った。冬服なので暑かったが、船内は

のですが、イベントの最後、用事で見れなかったのが残念でした。

目白台団 吉尾 広輝

ぼくは、じゅんじゅんにのりました。その時に「船前の方がちょっと上にかたむいてる」

目白台団 近藤 拓海

私が海上保安庁の訓練を見て最も印象を受けたのは、海に落ちた人を助ける訓練でした。

配布して海洋少年団の広報に務めた。団員たちも迫力ある海上保安庁の総合訓練を見学し、自らもプログラムの一環として参加した素晴らしい体験となった。

なぜかというところからです。「みなさん船は、楽しいですよ!」

その状況でも救助をする人達は、鍛え抜かれたすごい人達であると思いました。



【指導者資格認定者】

平成29年6月8日に資格審査委員会が開催されました。認定された方は次のとおりです。

統括指導者

(目白台団) 岩瀬 操

指導者

(清水団) 草ヶ谷収一、岡野昭三、長崎修、榊原舞生、伊藤美加

(目白台団) 高橋知慧

(呉団) 鈴木陽一

(浜田団) 平田春美、近藤利明、水谷有希

(四日市団) 加藤正之

(門司団) 是永直輝